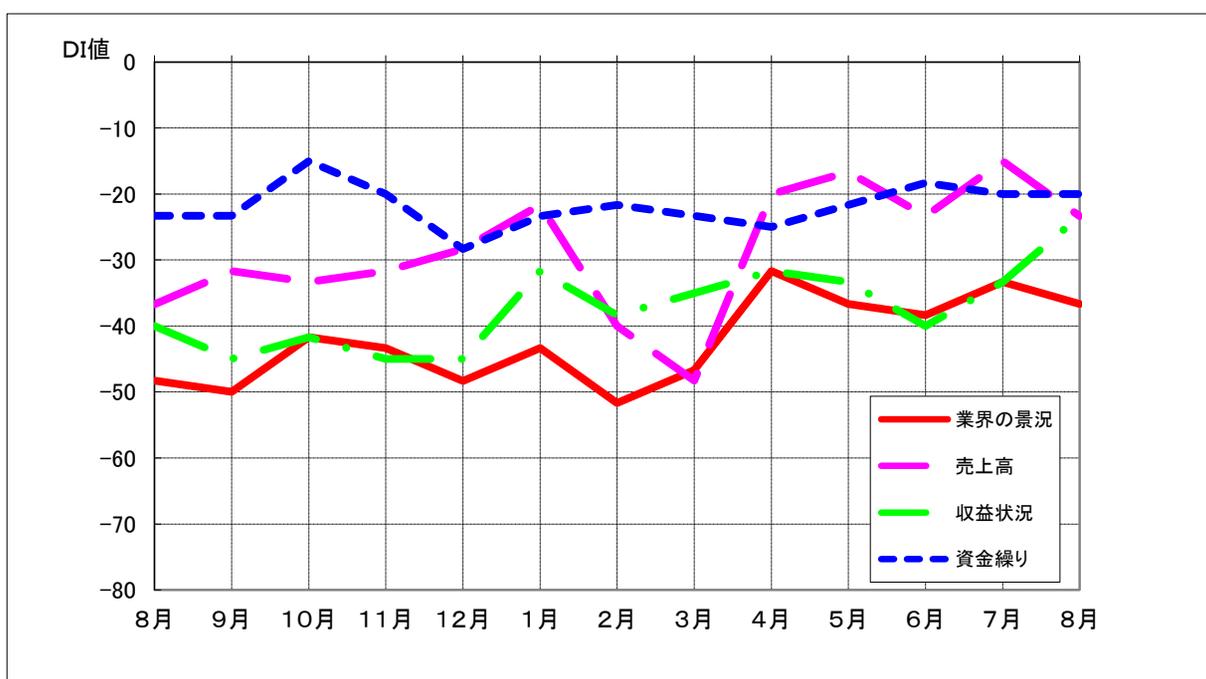


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年8月～平成24年8月

単位:ポイント



	H23					H24							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
業界の景況	-48.3	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3	-36.7
売上高	-36.7	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0	-23.3
収益状況	-40.0	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3	-23.3
資金繰り	-23.3	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0

○8月のDI値は前年同月に比べ、全項目が改善した。「業界の景況」は11.6ポイント、「売上高」は13.4ポイント、「収益状況」は16.7ポイント、「資金繰り」は3.3ポイントとそれぞれ改善した。また、前月比で見ると「業界の景況」は3.4ポイント、「売上高」は8.3ポイントそれぞれ悪化し、「収益状況」は10ポイント改善した。「資金繰り」は変わらなかった。製造業においては、一部業種では持ち直しの動きもあるものの、全体的な原料価格の上昇や受注の減少、非製造業においては、夏物の需要が上がらず売上高の減少が続いている。総じて、例年よりも需要が高まらず、景況が悪化しているという声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業の繊維・同製品製造業では、例年よりも受注量が少なく休業している工場もあったという声、機械器具製造業では、受注量の減少から先行不安定であり、プラス要素がまったく見えないという声が出ている。非製造業の商店街では、夏物商戦が振るわず売上が伸び悩んでいるとの声、運輸業では、全体の収入が対前年比緩やかに減少しているとの声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望として、消費税引き上げの見直し、円高対策、節電に対する助成を望む声があった。